

2023年度 自己評価報告書

熊本ベルエベル美容専門学校

評価対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日

2024年4月1日現在

評価	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

目次

1. 学校の教育目標

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- 関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適正に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受け入れ募集

- 学生募集活動は、適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する開講講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 学園・学校の教育目標等

【学園理念】

ロイヤル学園に関わる全ての人へ教育を通じて、感動を提供し社会に貢献する。

【学園コンセプト】

本気を生み出し、幸せを広げる。

【ビジョン】

日本で一番、素晴らしい美容とブライダル教育をする専門学校を目指す。

【教育目標】

ミライ創造の旗手であれ

【ミッション】

最高の教育と顧客サービスによって、我々に関わる全ての人の幸福を実現する。

【クレド】

- ① 相手の幸せを追求することにより、自らの幸せを手に入れる
- ② 崇高な仕事に誇りと責任を持ち、常に自己を磨き続ける。
- ③ 変化を恐れず、変化を受け入れ、変化を楽しみ、常に進歩する。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
(1)－1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
(1)－2	学校における職業教育の特色は何か	3
(1)－3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
(1)－4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
(1)－5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
学園理念のもと教育目標からコンセプト、ビジョン、ミッション、クレドと展開され 各学科の専門的技術知識を持った教員による指導で卒業後、資格取得後においても実践的技術からの即戦力での活躍が出来る人材育成に力を注いでいる。学生が知識・技術を習得できる最もよい環境を作りだせるよう教職員が一丸となって取り組んでいる		

(2) 学校運営

	評価項目	評価
(2)－1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)－2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(2)－3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
(2)－4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
(2)－5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
(2)－6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
(2)－7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
(2)－8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
学園理念、コンセプト、ビジョン、教育目標、ミッション、クレドを掲げその実現に向けて運営方針や事業の計画を策定。組織としての運営意思決定も学園の目標達成のために規定に基づいて実施している人事や賃金等も制度化を図っておりコンプライアンスも含め適切な運営がなされていると判断する。また情報公開もHP上の公開を行っている		

(3) 教育活動

	評価項目	評価
(3)－1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3)－2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
(3)－3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
(3)－4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)－5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
(3)－6	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
(3)－7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3)－8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
(3)－9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)－10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)－11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
(3)－12	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
(3)－13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
(3)－14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
時代や業界のニーズに即した課程を実施し、内容に即した学習時間や科目、生徒のレベル等を考慮し明確にしている。学科における資格や技術を持った専任教員を必要数確保しておりカリキュラムに沿った授業を実施している。授業評価としても生徒アンケートの実施やそれに基づく上長面談を通じ課題の抽出と解決に向け活用している。 教職員の能力開発や能力向上の為、勉強会の実施や年1回ではあるが関連する技術力を教員間で競う場を設けるなど積極的に取り組んでいる		

(4) 学修成果

	評価項目	評価
(4)－1	就職率の向上が図られているか	4
(4)－2	資格取得率の向上が図られているか	3
(4)－3	退学率の低減が図られているか	3
(4)－4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)－5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
外部企業、OBOGやサロンオーナー等と連携し授業において実践教育という点に重きを置くことでミスマッチを防ぎ「就職後1年未満離職率」低減に力を入れている。 就職選任職員によるフォローは勿論のことヒアリングを行いその原因・理由を洗い出し、在校生の就職教育に役立てており環境や条件の良い企業の調査や卒業生への接触にてより良い就職先を探求している		

(5) 学生支援

	評価項目	評価
(5)－1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(5)－2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
(5)－3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
(5)－4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
(5)－5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
(5)－6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
(5)－7	保護者と適切に連携しているか	3
(5)－8	卒業生への支援体制はあるか	4
(5)－9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
就職専門部署を配置し企業との連携、学生への適切な進路指導を行っている。 学生に対する経済的支援に関しては学園独自のミライ応援基金を利用し、一人暮らしを行う生徒への経済的支援、家庭内での経済状況に応じて授業料の一部免除を行う経済支援を実施。 学生生活の中では担任による面談やカウンセラーの配置、健康診断の実施等、生徒が安心して学べる環境づくりを行っている。 卒業生への支援に関しては、他企業と連携し再就職へのアドバイス、勤務状況を定期的に確認しておりその結果を踏まえ、在校生の就職教育に活かし卒業後離職の低減を図っている。		

(6) 教育環境

	評価項目	評価
(6)－1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(6)－2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
(6)－3	防災に対する体制は整備されているか	3
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
施設設備については教育上必要な分として対応できているが経年による劣化に対し更新や入替を計画的にすすめていかなければならないと考えます。 また企業やサロンへの積極的な招致や訪問での業界動向の把握や就職対象業種に対するインターンシップでの職業意識向上を図っている		

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
(7)－1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
(7)－2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
(7)－3	学納金は妥当なものとなっているか	4
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
学生募集専門部署と学校教職員が主となり学生募集対応を実行。 学校選択や学科選択のミスマッチがないよう教育内容の説明も行いながら、実際どのような技術があるのか授業体験等を行い、オープンキャンパスやパンフレット、HP等を利用し伝えている 学納金に関しても、社会情勢等を鑑み妥当な額となるよう設定を行っている。		

(8) 財務

	評価項目	評価
(8)－1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
(8)－2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
(8)－3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
(8)－4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
学校学科によるバラつきもあるが生徒数確保により財政基盤は安定しているといえ、予算・収支計画、会計監査は適正であり、財務情報についてもHPにて公表を行っている。		

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
(9)－1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9)－2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9)－3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
(9)－4	自己評価結果を公開しているか	4
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
法を遵守した学校運営が為されている。 個人情報についてもシステムパスワード等により適正に行っている。 自己評価結果をHPで公表を行っている。		

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(10)－1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(10)－2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
(10)－3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
2022年度からコロナ禍からの復帰もあり地域イベントや企業イベントへの参加をコロナ禍前に近く回復し活発に出来ていたと感じる。今後に関しても、生徒の健康管理及び社会情勢を踏まえ、臨機応変に対応をする。		

2023年度 熊本ベルエベル美容専門学校 学校関係者評価報告書

神戸ベルエベル美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2023年度 自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施し致しましたので、その結果を次の通り報告致します。

開催日時 2024年5月17日13時00分

会場 統括センター会議室

学校関係者評価委員会 委員

委員 ・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・HRFクリエイト株式会社

田村 隆行
井上 寛教
藤井 康輔

出席委員 ・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・HRFクリエイト株式会社

田村 隆行
井上 寛教
藤井 康輔

～各評価基準の学校関係者評価・意見～

●基準1 教育理念・目標

評価者意見

- ・理念・目標を全教職員が正しく理解できるように学園の方向性や業務に対する考え方等毎月の勉強会や年度での研修会等を実施していたとの事で教職員への理念や目標の浸透・理解に役にたっていると感じられる。
- ・ホームページやSNS等のツールを使用し在校生だけではなく美容やブライダルへの道を考えている高校生や そうでない高校生でも興味を持ってもらう事ができ卒業生コメント等将来への考え方や方向性をわかりやすく打ち出せている

●基準2 学校運営

評価者意見

- ・新年度開始前に全教職員へ共通理解を図るとともに年度中には勉強会を毎月実施し都度修正や更なる理解を深めているように見受けられた。
- ・出願者数に関しては学校による偏りがあるものの全体で見ると概ね良いと感じられる。学科、学校による志願者数の差もあることからオープンキャンパス等での競合他校との差別化等注力が必要かと考えます。
- ・情報公開に関してはHPでされているのを確認いたしました。

●基準3 教育活動

評価者意見

- ・学習時間や到達レベルは明確にされており年間でのカリキュラム内容や施設実習の実施も適切に編成されていると思われる。また校時の変更や授業時間数の調整を行っており教員・生徒共に教育時間、各種行事、授業時間の確保を行い教育力の向上に努めておられると判断します。勉強会等では確保・調整からできた時間を有効に使いより高い教育や教員力の向上を期待します。
- ・就職指導においても卒業生接触やプラットフォームへの落とし込みにより環境や条件の優れた企業の情報を増やしミスマッチ等による早期離職低減に注力頂きたい

●基準4 学修成果

評価者意見

- ・就職、退学ともに改善が見られ就職選任の教員がいることはフォロー体制としても充実しているように見受けられる。早期に離職した卒業生に関しても再就職の相談ができる環境もあり手厚く感じられる。

●基準5 学生支援

評価者意見

- ・担任教員等によるフォローに加え、就職選任の職員がいることにより体制としては問題なく稼働していると思われる。環境・条件の揃った優良な就職先企業を積極的に見つけてくることで学生の持つ将来の不安軽減や早期離職の防止に繋がることから引き続き尽力いただきたい
- ・卒業生に対しても積極的にコンタクトをとっており在校生の就職活動の一助ともなり引き続き情報収集や就職に対する学生の意欲向上の為尽力いただきたい

●基準6 教育環境

評価者意見

- ・与えられた環境の中で何が出来るのかという所もあるが現状で施設、設備に関し著しい欠損や不具合等の問題はないと思われる。また不具合があった際にも選任で対応する部署もあり学校と連携しながら進めて頂きたい。
- ・学校建物の築年数も増えていく中、計画的な修繕を行い資金面や学生・教職員の安全面の確保をお願いしたい

●基準7 学生の受け入れ募集

評価者意見

- ・学校学科による一部偏りはあるが悪い傾向ではないと感じる。

●基準8 財務

評価者意見

- ・適切であると見受けられる。

●基準9 法令等の遵守

評価者意見

- ・法令を遵守し、自己評価に関しても実施及び問題点改善がみられる。
- ・HPにて情報公開もされている。

●基準10 社会貢献・地域貢献

評価者意見

- ・地域のイベント参加やボランティアに関する説明をいただき、たくさんの実績をつまれ意欲的に参加されていることがわかりました。また献血やデイサービス訪問等社会的貢献に関しても力を入れられており引き続き参加をお願いしたい